

➤ 皮膚科

現在、皮膚科専門医1名が常勤し診療を行っています。外来は、月曜・木曜午前は、大学よりの非常勤医師が、それ以外の時間帯は常勤医師が診察を担当しています。湿疹皮膚炎群、皮膚感染症、皮膚良性腫瘍、一部の皮膚悪性腫瘍、膠原病、自己免疫疾患（水疱症）など、皮膚科一般の診療を行っています。治療は外用療法や内服療法が中心ですが、化膿部の排膿処置、熱傷などの創傷処置、疣贅や腫瘍への冷凍凝固療法、小腫瘍の摘出術、感染性皮膚疾患の点滴療法なども行っています。あわせて局所処置方法の指導やスキンケア指導、生活環境指導を行うとともに、近年高齢化社会により増加している褥瘡の治療、予防ケアなどにも力を入れています。

◆入院疾患の概要 2023年1月1日～2023年12月31日

疾患名	事例数	備考
皮膚感染症	0	
熱傷	4	
水疱症	0	
湿疹皮膚炎	0	

入院患者4件/年

◆主疾患（悪性疾患）を含む治療成績 2023年1月1日～2023年12月31日

外科的処置・治療領域では、診断及び治療方針決定のための皮膚生検、比較的簡単な局所麻酔下での皮膚腫瘍の切除術などを行っています。

年間手術・処置件数 213件/年（皮膚生検・外来小手術 125件、手術室手術 88件）

表皮嚢腫 73件、角化腫 12件、母斑 11件、線維腫 10件、皮膚癌（上皮内癌）9件など

◆主疾患治療プロトコール

皮膚疾患の入院治療

帯状疱疹 抗ウイルス剤点滴 5～7日間

蜂窩織炎 抗生剤点滴 7～14日間

水疱症 ステロイド内服、局所処置 14～20日間

褥瘡パス入院 10～20日間

など